

英語を楽しく



No. 53

12, May

☆ 通訳の人や映画の字幕に従事する人には 女性が多い。

理由はわかりませんが、これらの仕事は女性に向いているのではないかと、言われています。映画では最後に作品に従事した人の名前が必ず出てきますが、

翻訳 : ○○ ○ と女性の名前が多いです。

でも、通訳の神様と言われた 西山 千 という男の方もおられます。この方は。アポロが月に行くとき同時通訳をしました。そのため、事前に必要と思える単語を500も覚えて本番に臨んだそうです。しかし、後ほど

「同時通訳をしたが、一つ訳し間違えたところがある。」
と言われました。神様がですよ。



☆ ホンマヤロカ？英語教育が現在盛んですが下のような宣伝もありますね。

- 3ヶ月で英語が話せた（話せる）？
- いつの間にか英語を話していた（本人はびっくり）

とても本当とは思えない。しかし全く嘘とは言えない。なぜなら、「英語を話す」と言っても、[片言で]・[ちょっとしたお買い物程度は]・[日常生活に困らないほど] [映画が理解できるほど]・[英国人アメリカ人と討論できる程] とできる差があるからです。少しだけなら誰でも英語を新たに勉強しなくても話せるはずですよ。 「学問に王道無し」 短期間で [日常生活に困らないほど] 話せるは無理だと思いますね。

☆ テニス部は英語で **tennis club** ? イラストクラブは **illustration club** ?

テニス部は英語 **tennis team** イラストクラブは **illustration club** です。スポーツ関係のクラブは○○ **team** といいます。文化関係のクラブは○○ **club** といいます。でも、

「両方とも○○ **club** と言ってもいいじゃない。」

いう人もいます。

英語って案外、《どっちでもいいよ》ということがあって学習する人にとって、「ええ、どっちでもいいってどういうこと。」と悩んでしまうこともあるのですよ。

その例

I will go see a doctor. この文は **go** と **see** の間に **to** が入る不定詞の文ですが **to** がありません。そのわけをある ALT に訊くと、

「習慣だから」と一言でした。



Yoshi